

生活に身近な道づくり事業 (第6期)

～安心・安全な地域づくりと生活環境の快適性向上のために～

環境整備部 建設課

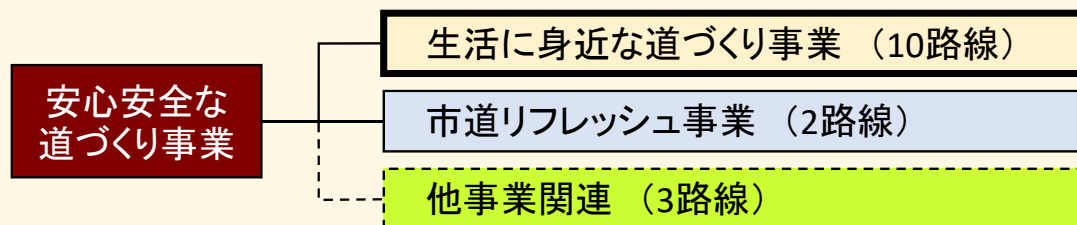
令和4年3月22日

1 趣 旨

- ・ 本市は、広大な面積を有し、集落が散在していることなどから、市民に身近な生活基盤の整備が遅れている現状にある。
- ・ このことから、日常に使っている足もと道路の整備への市民要望が多く寄せられている。
- ・ これら市民生活に密着した道路施設整備を計画的に進めるため、平成15年1月、「生活に身近な道づくり事業計画」（平成15年度～平成19年度の5ヵ年計画）を策定し、市民生活の利便性確保に努めてきた。
- ・ その後、第2期（H20～22）第3期（H23～25）第4期（H26～28）第5期（H29～R3）と実施してきた。
- ・ 第5期で事業継続中の路線を第6期計画に引継ぎ、市民の生活基盤の充実、安心・安全な地域社会に寄与するものとして、計画的に実施するものである。
- ・ また、既存舗装老朽化に伴う補修についても、本事業と並行して実施する必要があることから、計画路線を掲載する。

2 第6期計画期間及び事業費

- 計画期間 令和4年度から令和8年度まで 5カ年
- 総事業費 3.397億円
- 計画路線 10路線
計画延長 4.5km 計画幅員 4.0m~7.0m（現況幅員に応じ計画幅員を決定）
- 事業財源 国交省社会資本整備総合交付金、起債、市単独費
 - ※ 事業進捗は国費（社会資本整備総合交付金）交付率、起債借入可能額の状況による。
 - ※ R4年度~R7年度の事業費は総合計画後期基本計画（R3~R7）実施計画と整合性を確保する。
 - ※ 社会資本整備総合交付金の交付状況を踏まえ、長期的に取り組む必要から事業期間を5カ年とした。
 - ※ 計画路線は基本計画、実施計画を基本とする。今期計画では新規計画路線なし。



3 事業効果

- ・ 市民生活に密接に関わっている幹線、準幹線、生活道路、足もと道路の整備を図ることで、
 - 1 市民生活の利便性が高まる。
 - 2 市民生活の快適性確保が図られる。
 - 3 市民生活における安全・安心の確保が図られる。

4 路線の選定

- 前期計画の事業継続路線
- 他事業に関連して改良が見込まれる路線
- 老朽化が進行している路線
- ※ 老朽化が甚だしい幹線・準幹線の市道を再整備する。（整備後約50年経過）
 - ⇒ 局部改良、水路布設替え、土側溝をコンクリート水路、舗装オーバーレイなど

(1) 路線の優先順位付け

- 1 路線の利用頻度の高いもの（重要度により順位付け）
- 2 代替路線がなく緊急度の高いもの
- 3 他事業と関連するもの
- 4 過去に災害のあったもの、防災上必要なもの（避難道など）
- 5 工事費が少額でただちに効果のでるもの

(2) 重要度の計算方法

重要度＝必要度＋事業効果

必要度＝A＋B＋C＋D＋E

事業効果＝人家数／路線延長＊1,000

※必要度（該当ありに各20点加算）

- A：路線への人家の張り付き状況 B：通り抜け可能
 C：集落間のアクセス道路 D：公共施設の有無（地区公民館等）
 E：関連他事業との調整の有無

計算例：路線A、Bの必要度が共に100の場合

路線A：5戸で延長350m 路線B：5戸で延長750m

路線A事業効果：100＋（（5/350×1,000））＝100＋14＝114

路線B事業効果：100＋（（5/750×1,000））＝100＋6＝106

※重要度 路線A 114 > 路線B 106 （路線Aのほうが重要度が高い。）

5 事業費内訳

- 事業進捗は国費（社会資本整備総合交付金）交付状況によること。
- 事業費のR4～R7は後期5ヵ年計画と整合を図ったもの。
- 新規路線なし、実施時期は事業間調整による。

() 内は身近+リフレッシュ

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	合 計	摘 要
計画路線数		2 (4)	2 (4)	4 (5)	5 (6)	8 (8)	のべ21 (27)	複数年度施工有り
計画延長(m)		425 (1,190)	600 (1,105)	975 (1,265)	720 (1,010)	1,780 (1,780)	4,500 (6,350)	舗装新設 2,600m 舗装率 0.2%アップ
事業費(千円)		56,515 (136,507)	55,000 (110,000)	64,200 (109,200)	55,000 (95,000)	109,002 (110,000)	339,717 (560,707)	約3.4億円
財 源 内 訳	国 庫	30,763 (74,323)	27,500 (59,940)	35,310 (60,606)	30,250 (52,725)	59,940 (59,940)	183,763 (307,534)	社会資本整備総合交付金 5.5/10
	起 債	25,100 (60,700)	26,000 (48,000)	28,800 (48,500)	24,700 (42,200)	48,000 (48,000)	152,600 (247,400)	過疎債等 (国費裏分の9/10相当)
	単独費	652 (1,484)	1,500 (2,060)	90 (94)	50 (75)	1,062 (2,060)	3,354 (5,773)	

6 計画の概要

緑着色：他事業関連路線

青着色：市道リフレッシュ

	整理番号	路線名	工事区分	計画延長(m)	計画幅員(m)	施工箇所
1	1	太田1号線	道路改良舗装	220	5.0 (4.0)	早瀬町2丁目
2	2-1	二日町田中線	道路拡幅改良舗装	195	7.0 (6.0)	綾織町二日町～田中
3	2-2	日影我丸線	舗装補修	430	8.0～12.0	遠野インター付近
4	3	二日町小友線	舗装補修	1,420	6.0 (5.0)	小友町
5	4	矢崎荒屋線	道路改良舗装	1,840	5.0 (4.0)	松崎町矢崎～附馬牛町安居台
6	5-1	八幡前上羽根線	道路改良舗装	120	4.0 (3.0)	松崎町八幡前
7	5-2	上羽根雷線	道路改良舗装	130	5.0 (4.0)	松崎町八幡前
8	5-3	北小学校線	未定	※ 250	7.0 (6.0)	児童館関連
9	6	須崎線	道路改良舗装	285	4.0 (3.0)	土淵町須崎
10	7-1	長谷場善応寺線	道路改良舗装	90	4.0 (3.0)	青笹町善応寺
11	7-2	間洞高屋線	未定	※ 120	4.0 (5.0)	青笹町瀬内地区 水道事業関連
12	8	番屋佐野桑畑線	道路改良舗装	840	5.0 (4.0)	上郷町桑畑
13	9-1	桐町2号線	道路改良舗装/歩道	※ 120	7.0 (6.0) +2.5	まちなか再生市営住宅関連
14	9-2	高館線	道路拡幅改良舗装	280	7.0 (6.0)	宮守町鱒沢
15	9-3	達曾部宿線	道路拡幅改良舗装	500	7.0 (6.0)	宮守町達曾部
		身近な道づくり	10路線(全線5期繰延べ)	4,500		
		市道リフレッシュ	2路線	1,850		
※		他事業関連	3路線	※ 490		
		合計 15路線		6,350		※欄を除く

第6期 生活に身近な道づくり事業位置図

